

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		一般道路管理対策事業				
	担当課・係名		建設水道課 管理係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	08 土木費		中分類	02 快適生活のためのライフラインの整備	
		項	02 道路橋梁費		小分類	01 ライフライン整備（道路）	
目		01 道路橋梁総務費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		69	69	69	68	78
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	69	69	69	68	78
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	宮城県道路協会、宮城県道路利用者会議、宮城県国道協議会、宮城県建設技術協会、国道457号整備促進期成同盟会						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	道路整備事業の促進及び適切な維持管理の促進、建設関係施策の確立及び建設技術水準の向上、国道457号整備の促進を図り、道路行政等を円滑に推進する。						
⑤	事業概要						
	宮城県道路協会、宮城県道路利用者会議、宮城県国道協議会、宮城県建設技術協会、国道457号整備促進期成同盟会への負担金						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	負担金は年々少々であるが減少傾向にある。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
	各種協会等の規約						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指 標 名			H28	H29	H30	
	A	国・県等への要望回数	単位：回	実績値	2	2	2
				目標値	2	2	2
	定義	国・県等への要望回数					
	B		単位：—	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
	定義						
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指 標 名			H28	H29	H30	
	A		単位：—	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
	定義						
	B		単位：	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
	定義						

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 14	主要道路の整備については地域より要望活動が必要である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 14	道路整備事業の促進及び適切な維持管理が図られる。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 13	道路整備事業の促進及び適切な維持管理の促進、建設関係施策及び建設技術水準の向上等を図るため。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	道路整備事業の促進及び適切な維持管理の促進、建設関係施策及び建設技術水準の向上等を図られている。

⑪	課長総括評価 本事業は道路整備事業・道路維持管理事業の促進等を図るため、関係する自治体とともに国・県等への要望活動を行う事業であり、今後も事業を推進する。
合計点 46	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		道路台帳整備事業				
	担当課・係名		建設水道課 管理係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	08 土木費		中分類	02 快適生活のためのライフラインの整備	
		項	02 道路橋梁費		小分類	01 ライフライン整備（道路）	
目		01 道路橋梁総務費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		1,512	1,512	980	972	1,708
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	1,512	1,512	980	972	1,708
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 道路管理事務を円滑に行うためには、道路の区域や管理上の基礎的な事項を総括的に把握する必要がある。						
⑤	事業概要 新たな町道認定された道路、改良舗装された道路の道路台帳整備						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 道路整備の推進により毎年度変更している。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 道路法						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指 標 名			H28	H29	H30	
	A	整備率 単位： %	実績値	100	100	100	
			目標値	100	100	100	
	定義	道路台帳と実際の道路状況の乖離がない状況を表す					
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指 標 名			H28	H29	H30	
	A	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ	最も適切な方法で行われている	5
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	3
評価の説明	町道を管理していく上で、道路台帳の整備は必要である。	
点数	13	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	5
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明	道路台帳は、町道の工事、占用等において有効活用ができる。	
点数	14	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	4
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ	受益者負担は適正である	4
評価の説明	道路台帳の整備は、改良舗装等された道路について更新を行っている。	
点数	12	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明	道路台帳の整備は、改良舗装等された道路について更新を行っている。	
点数	4	

⑪	課長総括評価	道路台帳の整備は道路法に規定されており、地方交付税の算定資料として用いられるほか、施設管理に欠かせないものである。
合計点	43	
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		一般道路事務事業					
	担当課・係名		建設水道課 管理係					
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ		
		款	08 土木費		中分類	02 快適生活のためのライフラインの整備		
		項	02 道路橋梁費		小分類	01 ライフライン整備 (道路)		
目		01 道路橋梁総務費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>					
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算	
	総事業費 (千円)		1,034	1,032	1,255	1,228	1,554	
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0	
		その他特定財源	0	0	0	0	0	
		一般財源	1,034	1,032	1,255	1,228	1,554	
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。								
③	対象 (誰、何を対象にするのか)							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか) 土木工事等の工事費積算の適正化と迅速化							
⑤	事業概要 土木工事積算システムソフト借上料 (公) 宮城県建設センター、工事实績情報サービス使用料 ((財) 日本建設情報総合センター：コリンズ)、営繕工事積算単価使用料 ((財) 建設物価調査会発行、 (財) 経済調査会発行)							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について							
⑦	根拠法令等 (法律・条例・要綱等)							
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)							
	指標名			H28	H29	H30		
	A	設定困難	単位 :	実績値	0	0	0	
				目標値	0	0	0	
	定義							
	B		単位 :	実績値	0	0	0	
				目標値	0	0	0	
	定義							
	⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
		指標名			H28	H29	H30	
A		設定困難	単位 :	実績値	0	0	0	
				目標値	0	0	0	
定義								
B			単位 :	実績値	0	0	0	
				目標値	0	0	0	
定義								

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 14	土木工事等積算システムについては、工事積算の適正化と迅速化を図るため必要である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 13	土木工事等の工事積算の適正化と迅速化
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 14	積算システムを使用し最適な積算が可能になった。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	土木工事等の工事積算の適正化と迅速化

⑪	課長総括評価 合計点 46	土木工事積算に必要不可欠な積算ソフトの借上等の事業である。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		道路愛護会助成事業				
	担当課・係名		建設水道課 管理係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	08 土木費		中分類	02 快適生活のためのライフラインの整備	
項		02 道路橋梁費	小分類		01 ライフライン整備（道路）		
	目	01 道路橋梁総務費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		286	286	286	286	286
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	286	286	286	286	286
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 色麻町道路愛護会						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 町内の道路清掃、除草等により道路環境の整備が図られる。						
⑤	事業概要 色麻町道路愛護会事業に対する助成						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 愛護会の精神は、住民参加型であるので今後の事業についても、協力をお願いしていく。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指 標 名			H28	H29	H30	
	A	単位： km	実績値	26,150	26,150	26,150	
			目標値	26,150	26,150	26,150	
	定義	道路愛護精神により毎年度各行政区での実施状況を表す。					
	B	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指 標 名			H28	H29	H30	
	A	単位： km	実績値	26,150	26,150	26,150	
			目標値	26,150	26,150	26,150	
	定義	道路愛護精神により毎年度各行政区での実施状況を表す。					
	B	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	町民の道路行政への理解と道路愛護精神の普及を図る事業である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	清掃、除草等により道路環境を維持する有効な事業である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 14	全世帯加入の愛護会のため、町内主要道路の清掃、除草等を短時間で行っている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	良好な道路環境を維持することにより、歩行者や車両が安全に通行できる。

⑪	課長総括評価 合計点 49 今後の方向性	本事業は道路愛護会活動（道路除草、清掃等）へ補助金を交付する事業である。金額は少ないものの環境美化や見通確保等、交通安全においても有効な手段であり、今後も事業を推進する。 現状のまま継続
---	----------------------------	--

⑫	二次評価 今後の方向性	
---	----------------	--

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		道路維持改修事業				
	担当課・係名		建設水道課 管理係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	08 土木費		中分類	02 快適生活のためのライフラインの整備	
項		02 道路橋梁費	小分類		01 ライフライン整備（道路）		
	目	02 道路維持費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		43,630	41,880	56,102	48,627	26,139
	財源 内訳	国県支出金	0	0	7,817	0	0
		その他特定財源	10,750	10,750	19,150	10,050	5,500
		一般財源	32,880	31,130	29,135	38,577	20,639
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 町内1級町道、2級町道、その他町道を対象とする。						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 町道の維持補修等を行い、安全な道路を確保することにより、歩行者や車両が支障なく通行できる。						
⑤	事業概要 町道補修、（舗装道補修、敷砂利等）区画線設置、町道改修（舗装工事等）交通安全施設（視線誘導標識等）、道路測量調査設計等委託、側溝等設置						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 町民からの舗装道等の要望が年々多くなっている。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 道路法						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位： %	実績値	100	100	100	
			目標値	100	100	100	
	定義	実施状況に対して					
	B	単位：	実績値	0	0	0	
目標値			0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位： %	実績値	100	100	100	
			目標値	100	100	100	
	定義						
	B	単位：	実績値	0	0	0	
目標値			0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 14	町民の要望や道路パトロールで発見した破損箇所の維持補修を行っている。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	破損箇所を維持補修し事故等防止できる。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	道路パトロールを定期的実施し破損箇所の維持補修を行っている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	町民の要望や道路パトロールで発見した破損箇所の維持補修を行っている。

⑪	課長総括評価 合計点 48	高度経済成長期に集中的に整備された道路面の経年劣化と側溝・ガードレール等の付帯施設が今後急速に老朽化することが懸念され、その対策が急務となっており、維持補修事業を推進する。 また、住宅に隣接する町道等の舗装がまだ完了していないことから簡易舗装工事も推進する。
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		除雪事業				
	担当課・係名		建設水道課 管理係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	08 土木費		中分類	02 快適生活のためのライフラインの整備	
項		02 道路橋梁費	小分類		01 ライフライン整備（道路）		
	目	02 道路維持費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		69,489	50,628	59,039	56,710	58,306
	財源 内訳	国県支出金	8,000	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	61,489	50,628	59,039	56,710	58,306
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 町内1級町道、2級町道、その他町道を対象とする。						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 冬季の積雪時において道路の路面管理及び交通機関の通行を確保することにより、歩行者および車両が支障なく通行ができる。						
⑤	事業概要 町道等の除雪作業、防雪柵設置、防雪ネット設置						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 積雪量の多少にかかわらず住民より除雪依頼が多くなっている。また、業者が減少傾向にある。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指 標 名			H28	H29	H30	
	A	単位： %	実績値	100	100	100	
			目標値	100	100	100	
	定義	実施状況に対して					
	B	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指 標 名			H28	H29	H30	
	A	単位： %	実績値	100	100	100	
			目標値	100	100	100	
	定義	実施状況に対し					
	B	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 14	町道維持管理は道路管理者である町がすべきものである。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 13	積雪時に町道等を支障なく通行できるようにするには有効な事業である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 13	町、業者等が町道の路線を分担し除雪することにより短時間で行うことができる。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	道路の除雪により通行車両や通行人の事故等を防止している。

⑪	課長総括評価 合計点 45	上下水道、電気、電話等のライフラインの保守点検、整備、修繕のために必要な道路は、最も重要なライフラインであり、除雪事業は欠かせないものである。
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		河川管理一般事業				
	担当課・係名		建設水道課 管理係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	08 土木費		中分類	02 快適生活のためのライフラインの整備	
		項	03 河川費		小分類	01 ライフライン整備（道路）	
目		01 河川総務費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		44	44	51	51	50
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	44	44	51	51	50
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 宮城県砂防協会、宮城県治水協会、鳴瀬川総合開発促進期成同盟会、江合川及び鳴瀬川水系水質汚濁連絡協議会						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 河川災害復旧等に関する治水・利水事業の推進、水質汚濁対策等を図ることにより、砂防事業、河川事業の促進及び災害防止軽減、情報提供や広報活動等を行う。						
⑤	事業概要 各協会、協議会への負担金						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等） 各種協議会等の規約						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	国県等への要望	単位：回	実績値	2	2	2
				目標値	2	2	2
	定義						
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	設定困難	単位：	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
	定義						
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 14	砂防事業、河川事業の促進及び災害防止軽減を図るため国・県等に要望活動を行う。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 14	砂防事業、河川事業の促進及び災害防止軽減を図るため国・県等に要望活動を行う。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 13	砂防事業、河川事業の促進及び災害防止軽減が図られる。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	砂防事業、河川事業の促進及び災害防止軽減が図られた。

⑪	課長総括評価 合計点 46 今後の方向性	本事業は砂防事業・河川事業の促進及び災害の防止・軽減を図るため、関係する自治体とともに国・県等への要望活動を行う事業であり、今後も事業を推進する。 現状のまま継続
---	----------------------------	---

⑫	二次評価 今後の方向性	
---	----------------	--

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		河川愛護会助成事業				
	担当課・係名		建設水道課 管理係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	08 土木費		中分類	02 快適生活のためのライフラインの整備	
		項	03 河川費		小分類	01 ライフライン整備（道路）	
目		01 河川総務費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		286	286	286	286	286
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	286	286	286	286	286
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 色麻町河川愛護会						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） 町内の河川清掃、除草等により河川環境整備が図られる。						
⑤	事業概要 色麻町河川愛護会に対する助成						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 愛護会の精神は、住民参加型であるので今後も協力をお願いしていくが、年々高齢化になっている。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位： m	実績値	35,000	35,000	35,000	
			目標値	35,000	35,000	35,000	
	定義	河川愛護精神により、毎年度各行政区での実施状況を表す。					
	B	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位： m	実績値	35,000	35,000	35,000	
			目標値	35,000	35,000	35,000	
	定義	河川愛護精神により、毎年度各行政区での実施状況を表す。					
	B	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	町民の河川行政への理解と河川愛護精神の普及を図る事業である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 14	清掃、除草等により河川環境を維持する有効な事業である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 14	全世帯加入の愛護会のため、町内主要河川の清掃、除草を短時間で行っている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	良好な河川環境を維持することにより、洪水等の自然災害を防止軽減している。

⑪	課長総括評価 合計点 48	本事業は愛護会活動(河川除草)へ補助金を交付する事業である。金額は少ないものの立木の生育を抑え災害を未然に防止・軽減するうえで有効な手段であり、今後も事業を推進する。
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		河川維持管理事業				
	担当課・係名		建設水道課 管理係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	08 土木費		中分類	02 快適生活のためのライフラインの整備	
項		03 河川費	小分類		01 ライフライン整備 (道路)		
	目	02 河川維持費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費 (千円)		1,381	1,361	1,595	1,489	2,433
	財源 内訳	国県支出金	487	755	1,080	814	865
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	894	606	515	675	1,568
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象 (誰、何を対象にするのか)						
新深川、花川							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
防災及び自然環境保持のためこの事業を行うことにより、洪水等において災害を防止し、被害が軽減される。							
⑤	事業概要						
花川河川敷、新深川堤防の除草・清掃作業							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
平成23年度より花川堤防の除草作業は県直営で行っている。							
⑦	根拠法令等 (法律・条例・要綱等)						
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	除草実施面積	単位 : m ²	実績値	29,200	29,200	29,200	
			目標値	29,200	29,200	29,200	
定義							
B		単位 :	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	除草実施面積	単位 : m ²	実績値	29,200	29,200	29,200	
			目標値	29,200	29,200	29,200	
定義							
B		単位 :	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 12	防災並びに自然環境保持のため、県と町が一体となってやるべき事業である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 13	洪水等の災害を防止するためにも有効な事業である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 14	防災並びに自然環境保持のため、県と町が一体となってやるべき事業である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	洪水等の災害を防止するためにも有効な事業である。

⑪	課長総括評価 本事業は主に花川河川公園に係る施設の維持管理事業であり、公園内の越流した際の堆砂や遊具の老朽化の問題もあることから県と相談しながら事業を推進する。 合計点 44
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		樋門維持管理事業				
	担当課・係名		建設水道課 管理係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	08 土木費		中分類	02 快適生活のためのライフラインの整備	
項		03 河川費	小分類		01 ライフライン整備（道路）		
	目	02 河川維持費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		450	450	450	450	450
	財源 内訳	国県支出金	450	450	184	450	450
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	266	0	0
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
河童川水門、旧長谷川樋門、新深川王城寺樋門							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
水門および樋門等の河川管理施設の円滑な運用及び常時適切な状態を保持することにより、洪水等の非常時において、円滑な水門操作等を行うことができる。							
⑤	事業概要						
河童川水門、旧長谷川樋門、新深川王城寺樋門の維持管理							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
県からの委託事業							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	単位：回	実績値	12	12	12		
		目標値	12	12	12		
定義	施設の点検回数						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	単位：回	実績値	12	12	12		
		目標値	12	12	12		
定義	施設の点検回数						
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 13	水門及び樋門の性能を常時最適な状態を維持する。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 14	洪水等の災害時において、円滑な水門操作等を行うことができる。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	水門及び樋門の性能を常時最適な状態を維持する。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	水門及び樋門の性能を常時最適な状態を維持し災害等時において被害を軽減できた。

⑪	課長総括評価 本事業は県から委託されており、防災上、最も重要な事業である。 合計点 44
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		木造住宅耐震調査事業				
	担当課・係名		建設水道課 管理係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	08 土木費		中分類	02 快適生活のためのライフラインの整備	
項		04 住宅費	小分類		01 ライフライン整備（道路）		
目	02 木造住宅耐震調査費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>					
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		0	0	0	0	880
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	566
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	314
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
昭和56年5月31日以前に着工された一戸建て木造住宅							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
大規模地震による木造住宅の倒壊及び人的被害を軽減するため、耐震診断による危険性の把握を行い木造住宅の耐震化の推進を図る。							
⑤	事業概要						
昭和56年5月31日以前に着工された一戸建て木造住宅の耐震診断 なお、平成29年度より診断をした結果危険住宅と判定された住宅に対し耐震改修工事の助成を行う。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
耐震診断を申込みする方が少ない。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
色麻町木造住宅耐震診断助成事業実施要項							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	単位：戸	実績値	0	0	0		
		目標値	2	2	2		
定義		耐震診断実施戸数					
B	単位：戸	実績値	0	0	0		
		目標値	2	2	2		
定義		耐震改修実施戸数					
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	単位：戸	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
B	単位：	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 12	大規模な地震に対応するため、木造住宅の耐震化を図る。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 13	耐震診断により地震による危険性の把握を行うことができる。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	診断費用の一部は申込者が負担し残りについては国、県、町で負担する。 耐震改修については工事費1/3、上限30万円で助成し、助成金については国、県、町で負担する。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	3
評価の説明 点数 3	耐震診断を申し込む方が少ない。

⑪	課長総括評価 合計点 40 今後の方向性	大規模地震に備えるうえで必要な事業だが、ここ数年申請者がいない為、申請者増加につながるよう周知等を工夫しながら、今後も事業を継続して実施する。 改善の上継続
---	----------------------------	---

⑫	二次評価 今後の方向性	
---	----------------	--

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		橋梁維持補修事業				
	担当課・係名		建設水道課 管理係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	08 土木費		中分類	02 快適生活のためのライフラインの整備	
項		02 道路橋梁費	小分類		01 ライフライン整備 (道路)		
	目	03 橋梁維持費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費 (千円)		6,135	6,135	4,700	4,663	6,310
	財源 内訳	国県支出金	3,663	3,663	2,442	2,442	3,663
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	2,472	2,472	2,258	2,221	2,647
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象 (誰、何を対象にするのか) 町内橋梁を対象とする。						
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか) 橋梁の補修を行い、安全を確保することにより歩行者及び車両が支障なく通行ができる。						
⑤	事業概要 H30年度 橋梁点検 16橋						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 橋梁の寿命化が問題になっているので、年次計画策定と補助事業を活用した事業実施が緊急の課題である。						
⑦	根拠法令等 (法律・条例・要綱等)						
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	橋梁等の点検率 単位: %	実績値	39	63	100	
			目標値	50	75	100	
	定義	5カ年計画の割合					
	B	単位:	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位:	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
	B	単位:	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 14	町道の維持管理は道路管理者である町が行うべきものである。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 13	町道を長期的に維持するうえで欠かせない事業である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	ほとんどが部分的な補修であるが、道路通行上支障がないよう緊急にすべき事業である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	3
評価の説明 点数 3	町道通行の車両や通行人の事故等を防止している。

⑪	課長総括評価 合計点 42	高度経済成長期に集中的に整備された橋梁が今後急速に老朽化することが懸念され、その対策が急務になっていることから橋梁点検と長寿命化対策工事を推進する。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		基地対策事業				
	担当課・係名		建設水道課 建設係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	02 総務費		中分類	02 快適生活のためのライフラインの整備	
		項	01 総務管理費		小分類	01 ライフライン整備（道路）	
目		11 基地対策費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		325	317	373	372	374
	財源 内訳	国県支出金	250	191	300	248	300
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	75	126	73	124	74
※H28・H29予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 町民						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） ・ 要望活動等により、生活環境整備事業の促進を図る。 ・ 演習場を起因とする諸障害等について、当局等と交渉し、緩和・解消等を図る。						
⑤	事業概要 ・ 生活環境整備事業の推進・拡充等の要望事務 ・ 防衛施設の運用に係る地元関係者との連絡調整事務 ・ 防衛施設及び演習が起因となる諸障害等について、当局等交渉し、緩和・解消等を図る事務 ・ 日米共同訓練 ・ 米軍実弾射撃移転訓練時の警備、巡回事務						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 平成24年度以降、現状のままだが、今後、SACO特別交付金の減額等が懸念される。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	米軍実弾射撃移転 訓練実施回数	単位：回	実績値	1	1	1
				目標値	1	1	1
	定義						
	B		単位：	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
	定義						
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A		単位：	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
	定義						
	B		単位：	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
	定義						

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	町主導で行わなくてはならない事業であり、町民の生命・財産に関わる重要な事業である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	町主導で行わなくてはならない事業であり、町民の生命・財産に関わる重要な事業である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	町民の生命や財産に関わる重要な事業で県や他町村は総務企画部局で担当している。本町も本来、同様の部局で担当すべきであり、米軍滞在時の警備等、警察署との連携上も最適である。又、要望活動上、強く進言する場合も難があり、担当課の検討を要す。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	町主導で行わなくてはならない事業であり、町民の生命・財産に関わる重要な事業である。

⑪	課長総括評価 人命・財産に関わる最重要の事業であり、事業実施にあたっては今後も慎重に行うこととしている。 また、最も有効な交付金であるSAC0特別交付分が減額されることの無いように他の市町村と共に要望活動を活発に行っているところであるが、本課は事業実施担当課であり、渉外・要望担当としては切り離れた方が良く、他の市町村においては総務・企画部門が担当しており、検討が必要である。
合計点 50	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		加茂堂線改良舗装工事				
	担当課・係名		建設水道課 建設係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	08 土木費		中分類	02 快適生活のためのライフラインの整備	
項		02 道路橋梁費	小分類		01 ライフライン整備 (道路)		
	目	06 加茂堂線改良舗装事業費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費 (千円)		100,000	39,000	163,282	89,722	127,262
	財源 内訳	国県支出金	59,670	23,809	56,776	52,435	68,276
		その他特定財源	34,200	13,600	39,500	35,900	48,300
		一般財源	6,130	1,591	67,006	1,387	10,686
※H28・H29予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象 (誰、何を対象にするのか) 関係地区住民、一般通行人、小中学校児童生徒						
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか) 交通の安全と通行の緩和を図り、小中学校児童生徒の通学路を確保する。						
⑤	事業概要 平成27年度 測量調査設計一式 平成28年度 用地買収A=5,406.87m ² 、分筆登記一式、仮畦畔L=513.0m 平成29年度 加茂堂橋下部工2基 改良工事L=166.6m (H30繰越しR1事故繰越し) 平成30年度 加茂堂橋上部工 一式 (R1繰越し)、改良工事L=291.9m、改良工事その2L=100.0m (R1繰越し)						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等 (法律・条例・要綱等) 国土交通省 社会資本整備総合交付金(防災・安全)						
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	計画割合に対する 進捗状況 単位:	実績値	40	60	80	
			目標値	40	60	80	
	定義	5カ年計画の割合					
B	単位:	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位:	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
B	単位:	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	地域限定型の住民ニーズにより実施 延長が長く、町単独事業では実施困難である為、本交付金事業で実施。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	本交付金事業により恒久舗装とした為、長期耐久性が期待できる。 本線に隣接する土地について、将来宅地化される場合においては、重要な路線となる。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	恒久舗装とする為には本交付金事業で実施するのが最適。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	今年度より事業を開始し早期完成を図りたい。

⑪	課長総括評価 合計点 50	本町道の整備計画は、宿から下高城までの区間で、平成14年度に概略設計を行い、翌年度に特定防衛施設周辺整備交付金を充当し実施設計を行ったが、買収単価、残地、道路法面除草の件について同意が得られず中止となった経緯がある。 今回、国土交通省補助により、宿から下黒沢までの現道を有効利用した区間とし、平成27年度に実施設計を行い事業を推進している。 この町道の整備は、下黒沢地区住民の悲願であり、町としても最も重要な路線の一つであることから早期完成を図る。
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		王城寺原演習場関連公共用施設整備事業				
	担当課・係名		建設水道課 建設係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	08 土木費		中分類	02 快適生活のためのライフラインの整備	
項		02 道路橋梁費	小分類		01 ライフライン整備 (道路)		
	目	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>					
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費 (千円)		118,228	90,877	27,293	27,293	0
	財源 内訳	国県支出金	105,131	81,085	24,046	24,046	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	13,097	9,792	3,247	3,247	0
※H28・H29予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象 (誰、何を対象にするのか)						
周辺地区住民・一般通行利用							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
<p>○道命三号線外1改良舗装工事</p> <p>○広域一号線舗装工事</p> <p>○加茂堂線外1舗装工事</p> <p>演習場を有する町的生活環境の整備として、交通量の増加により舗装損傷が甚だしい本線について、路盤を再生のうえ舗装を行い、安全通行の確保を図る。</p>							
⑤	事業概要						
<p>○道命三号線外1改良舗装工事 L=1,564.75m 車道幅員W=4.0m(道命三号線L=941.35m 学校一号線L=623.4m) 平成17年度測量調査設計一式 平成18年度用地取得A=3,212.69m² 平成26年度道命三号線改良工事L=240.0m 平成27年度道命三号線改良工事L=460.0m 平成28年度道命三号線改良工事L=241.35m 平成29年度道命三号線舗装工事L=941.35m 平成29年度学校一号線改良工事L=360.0m</p> <p>○広域一号線舗装工事 L=2,686.44m 車道幅員W=5.5m 平成29年度測量設計一式 平成29年度広域一号線L=314.16m</p> <p>○加茂堂線外2舗装工事 L=1,323.65m 車道幅員W=6.0m (加茂堂線L=675.02m 四竈一号線L=251.83m 四竈二号線L=396.80m) 平成24年度測量設計一式 平成28年度加茂堂線L=675.02m 四竈一号線L=251.83m</p>							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
水道事業に交付金を回しているためH30からR2まで事業一時中止							
⑦	根拠法令等 (法律・条例・要綱等)						
防衛施設周辺の生活環境に関する法律第9条に基づく補助事業 (特定防衛施設周辺整備調整交付金事業)							
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
A	工事件数：件	単位：	実績値	6	4	1	
			目標値	6	4	1	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ	最も適切な方法で行われている	5
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明	○道命三号線外1改良舗装工事 地域限定型の住民ニーズにより実施。 ○黒沢線外1舗装工事・加茂堂線外2舗装工事 舗装損傷が著しく、再舗装の要望が多い路線の一つであり、交通量の増加にも対応とした舗装とした。	
点数	15	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	5
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	○道命三号線外1改良舗装工事 本交付金事業により恒久舗装とした為、長期耐久性が期待できる。本線に隣接する土地について、将来、宅地化される場合においては、重要な路線となる。 ○黒沢線外1舗装工事・加茂堂線外2舗装工事 交通量の増加に対応した舗装とした為、舗装の長期耐用向上を図った。舗装の修繕方法としては、本事業が最善である。	
点数	15	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	5
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	5
評価の説明	○道命三号線外1改良舗装工事 恒久舗装とする為には、本交付金事業(交付率100%以内)で実施するのが最適。 ○黒沢線外1舗装工事・加茂堂線外2舗装工事 目標を達成する為には、本交付金事業(交付率100%以内)で実施するのが最適。	
点数	15	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明	○道命三号線外1改良舗装工事 平成18年度以降事業を休止していたが、平成26年度より工事を開始し、早期完成を図りたい。 ○黒沢線外1舗装工事・加茂堂線外2舗装工事 目標を達成する為には、本交付金事業(交付率100%以内)で実施するのが最適。	
点数	5	

⑪	課長総括評価	<p>本事業は補助率100%を充当できる最も負担軽減が図られる事業であり、本課では黒沢線外1等の舗装修繕工事を主体に実施している。</p> <p>また、道命三号線のように、国土交通省では補助困難な幅員の狭い路線の新設・改良工事でも事業を実施できることや補助メニューも豊富な事から、本町にとっても最も有効な事業となっている。</p> <p>このため、SACO特別交付分が減額されることの無いように他の市町村と共に要望活動を活発に行っているところである。</p>
合計点	50	
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		